



毎日、発明する会社
again!

2021年4月期

第3四半期決算説明資料

フリービット株式会社

2021年3月16日

1. 2021年4月期 第3四半期 連結業績 ・・・ 3
2. 2021年4月期 第3四半期 セグメント別業績及び事業進捗 ・・・ 19
3. 2021年4月期 連結業績進捗 ・・・ 28

略称について

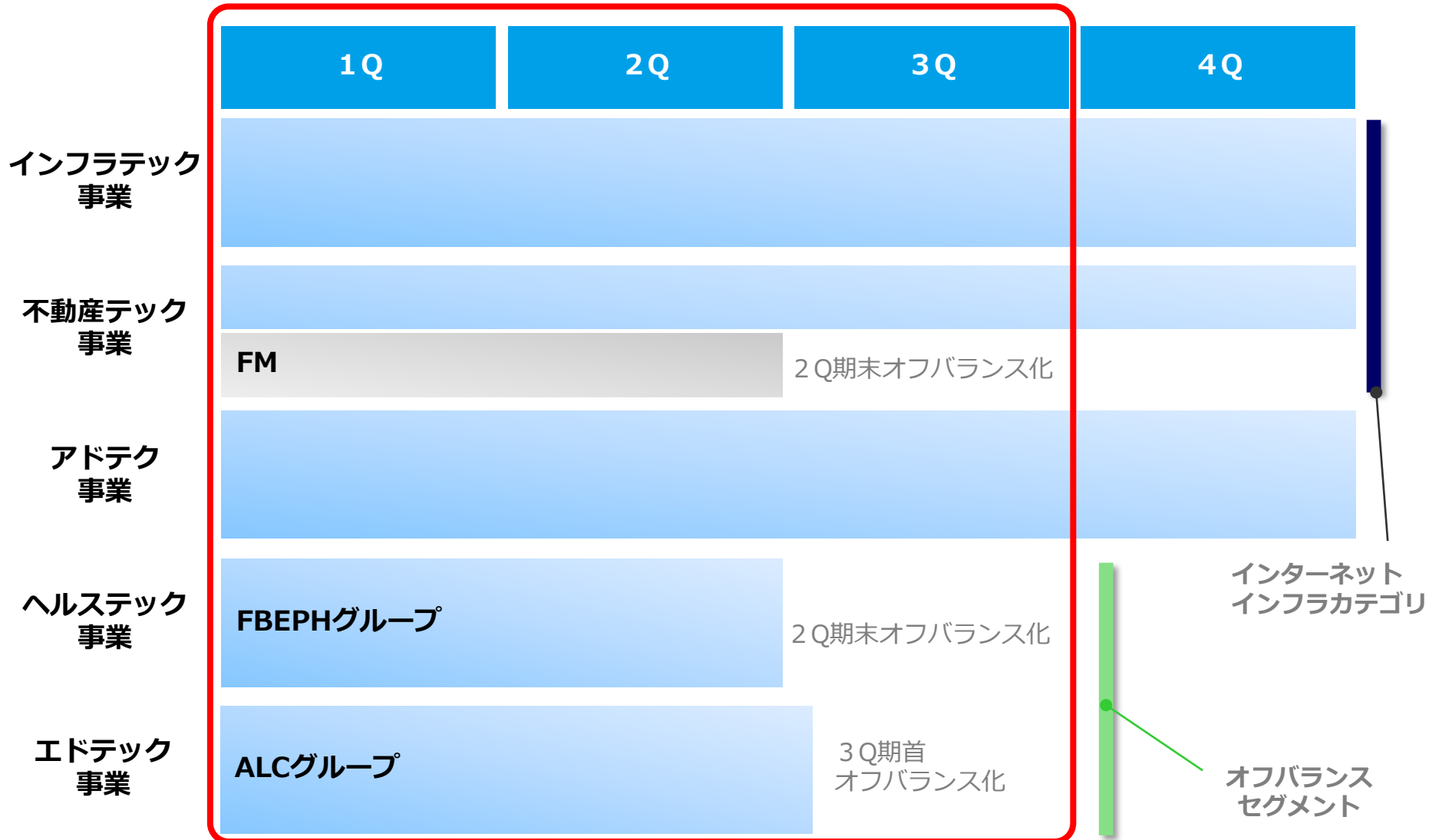
略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク 3Q期首に非連結化
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア (現：(株)くすりの窓口) 2Q末に非連結化
FBEPHG	フリービットEPARKヘルスケア (現：(株)くすりの窓口) グループ 2Q末に非連結化
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
BI	(株)ベッコアメ・インターネット=完全子会社
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイット=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社

略称	社名及び説明
FSL	(株)フルスピードリンク=(株)フルスピードの子会社
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバース 2Q末に非連結化
SV	(株)ソフト・ボランチ=(株)ギガプライズの完全子会社
GT	(株)ギガテック=(株)ギガプライズの完全子会社

略称	セグメント名
Infra	インフラテック事業
RET	不動産テック事業
ADT	アドテック事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業

1. 2021年4月期 第3四半期 連結業績

2Q期末にFBEPHG及びFM、3Q期首にALCをオフバランス化



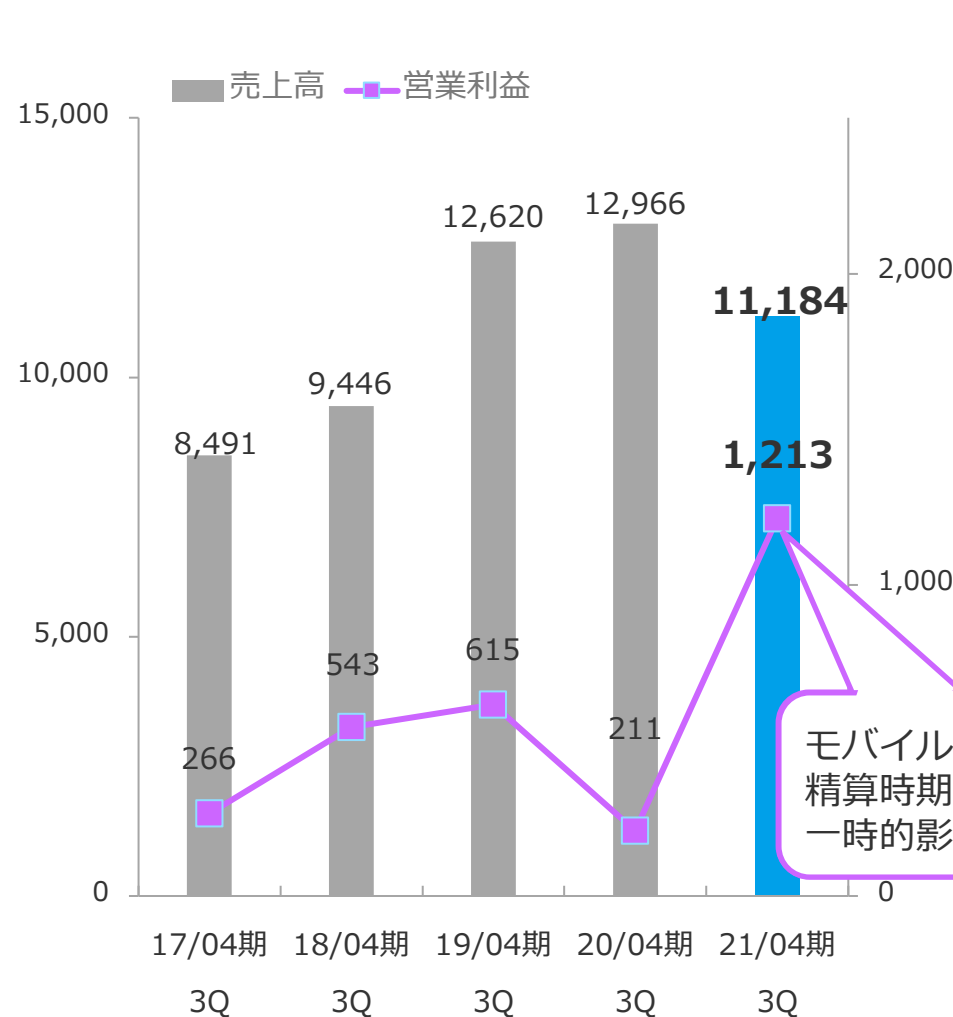
(単位：百万円)	21年04期 第3四半期	20年04期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	39,301	40,060	△759	△1.9%
EBITDA	3,889	2,653	+1,236	46.6%
営業利益	3,202	1,198	+2,004	167.3%
経常利益	3,318	1,113	+2,204	198.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,168	△238	+2,407	—
1株当たり純利益	100円57銭	△10円75銭	+111円32銭	—

2021年4月期第3四半期連結業績は、サービス需要増に伴うインターネットインフラカテゴリの利益増及びモバイル相互接続料の精算時期の変更(4Q⇒3Q)により増益

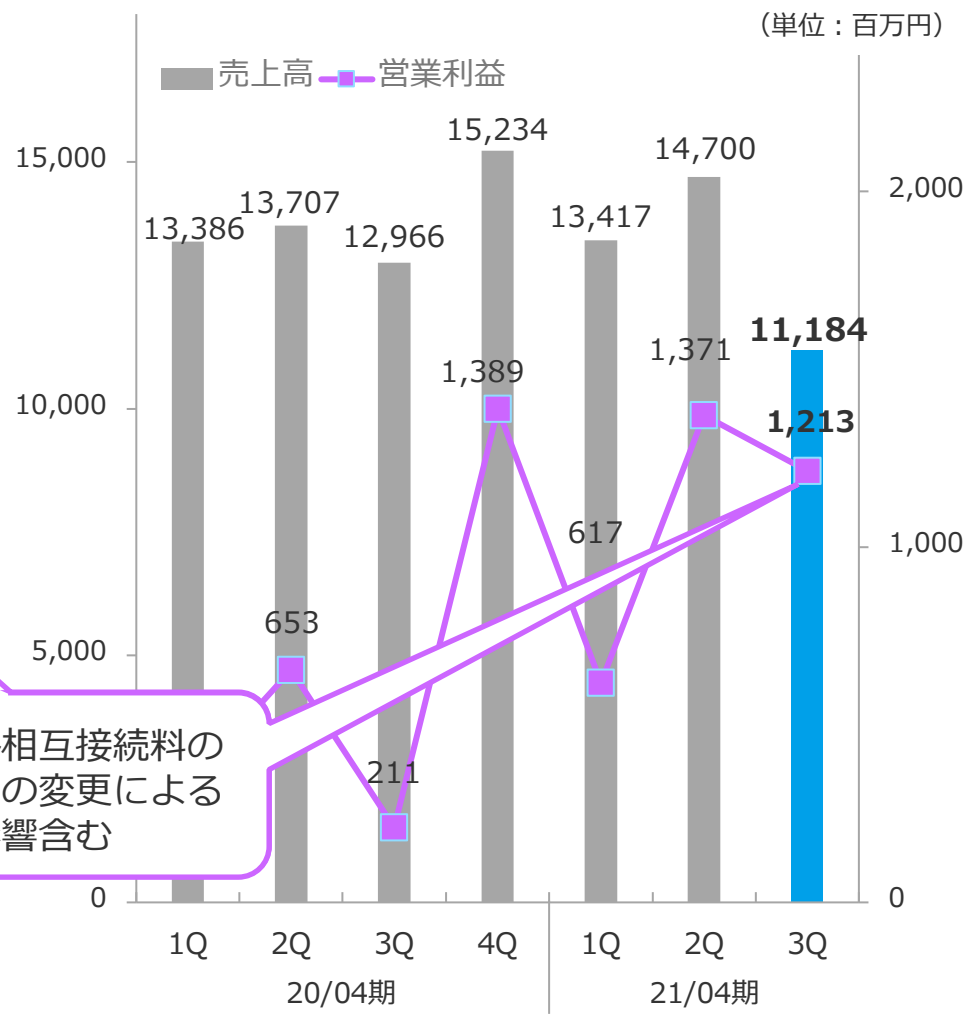
- ・売上高：サービス需要増によりインターネットインフラカテゴリが堅調に推移も、オフバランス化（FBEPH/ALC切り離し）によりほぼ横ばい
- ・営業利益：インターネットインフラカテゴリ利益増及び投資事業分野の再編等による利益改善により前年同期比167.3%増
- ・経常利益：営業利益増により前年同期比198.0%増
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：経常利益増等により前年同期比2,407百万円増

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるも、サービス需要増及びモバイル相互接続料の精算時期変更もあり営業利益増

第3四半期実績推移

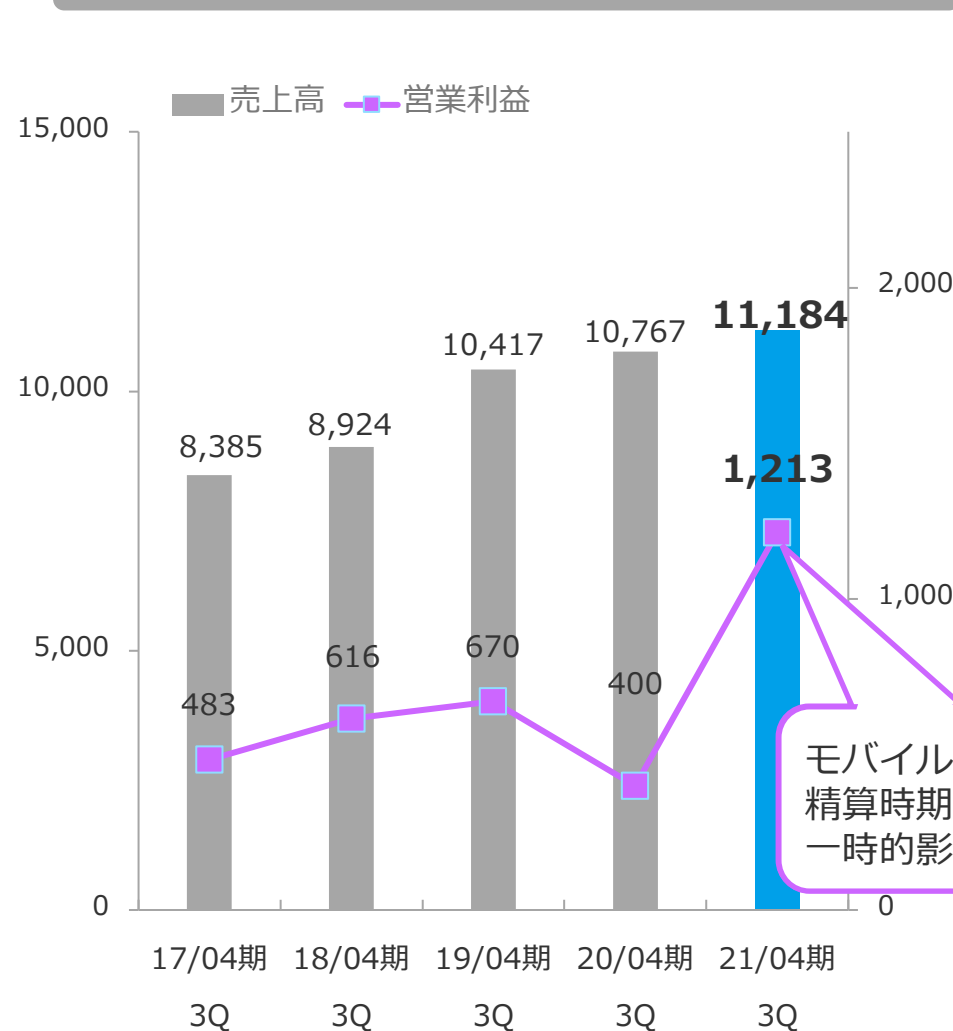


直近の四半期実績推移

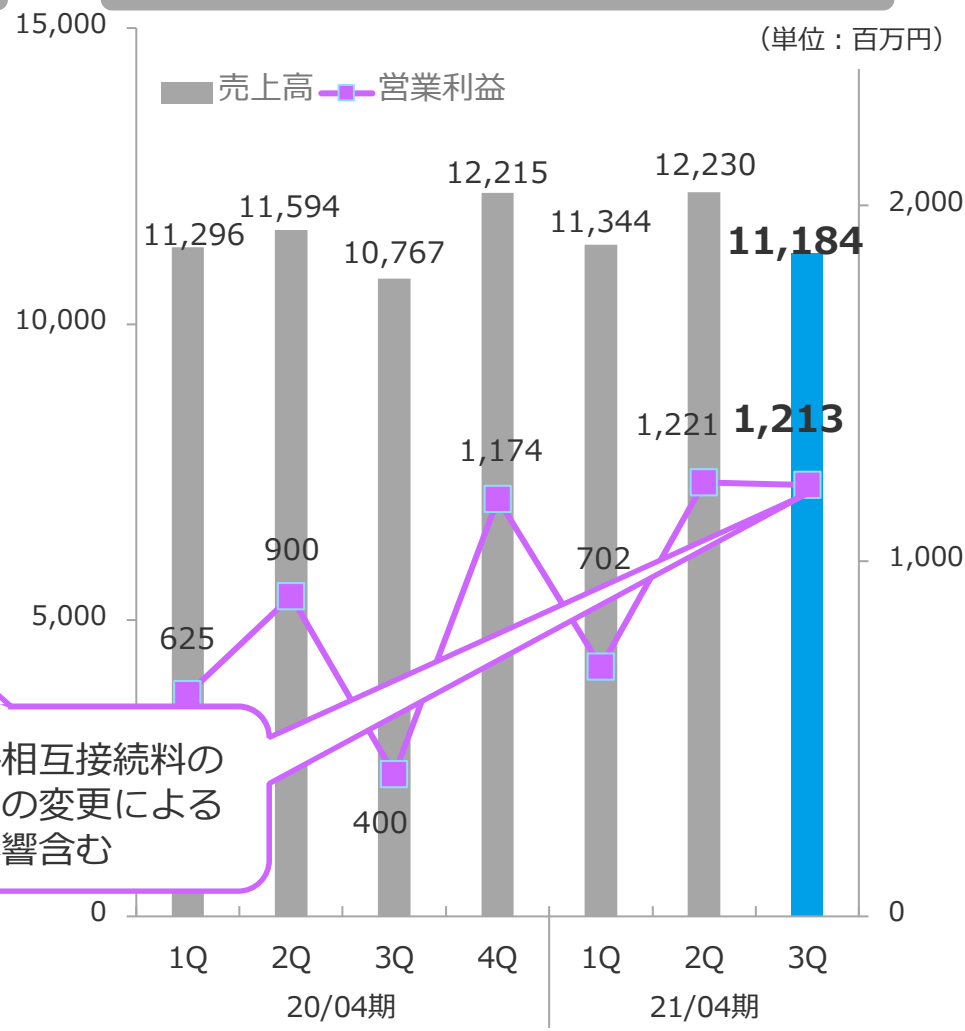


インターネットインフラカテゴリのサービス需要増及びモバイル相互接続料の精算時期変更(4Q⇒3Q)もあり営業利益増

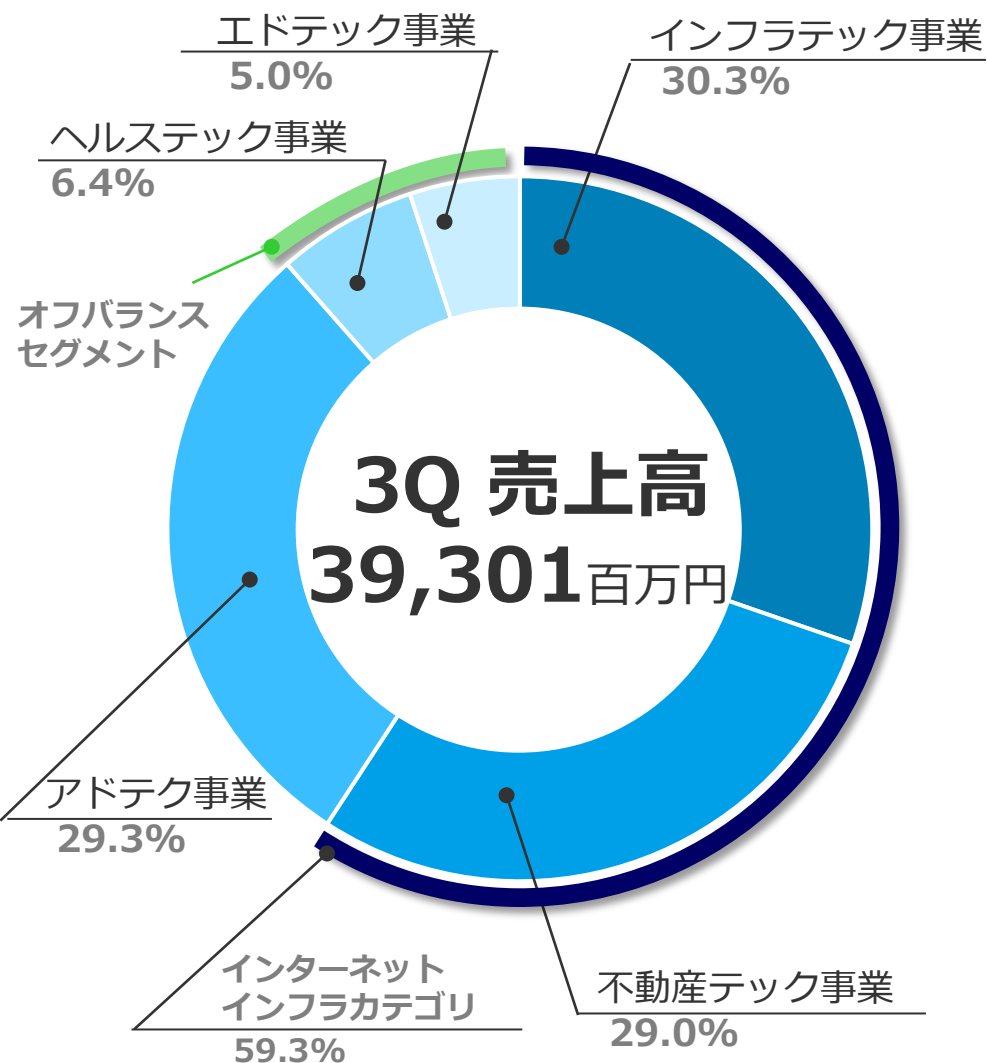
第3四半期実績推移



直近の四半期実績推移



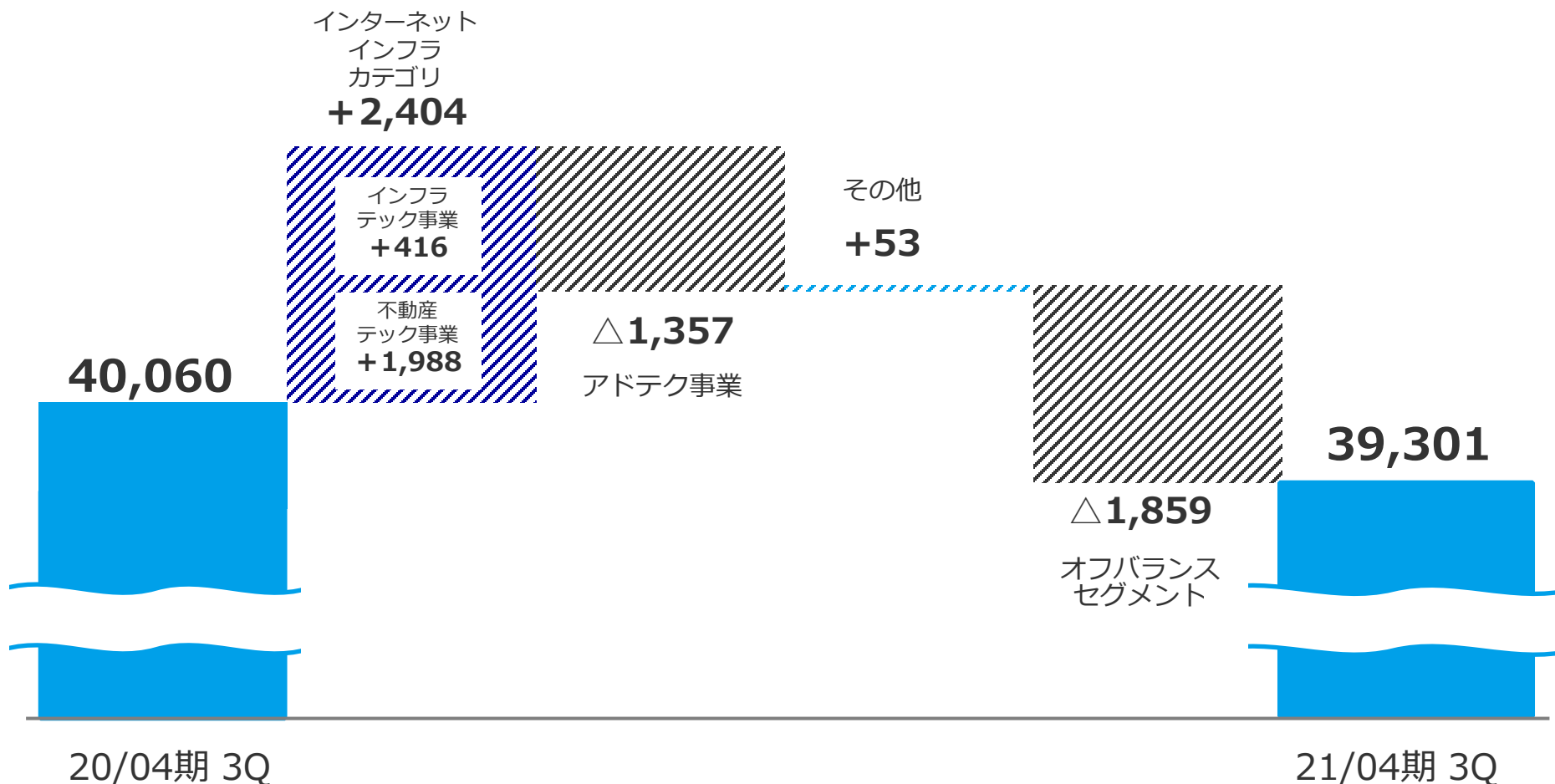
サービス需要増によりインターネットインフラカテゴリは、前年同期比増収増益



売上高	セグメント損益
インターネットインフラカテゴリ	
インフラテック事業	
12,015 百万円 YoY +3.6%	1,019 百万円 YoY +135.7%
不動産テック事業	
11,487 百万円 YoY +20.9%	1,566 百万円 YoY +88.8%
アドテック事業	
11,616 百万円 YoY △10.5%	548 百万円 YoY △15.0%
ヘルステック事業	
2,550 百万円	305 百万円
エドテック事業	
1,992 百万円	△240 百万円
オフバランスセグメント	

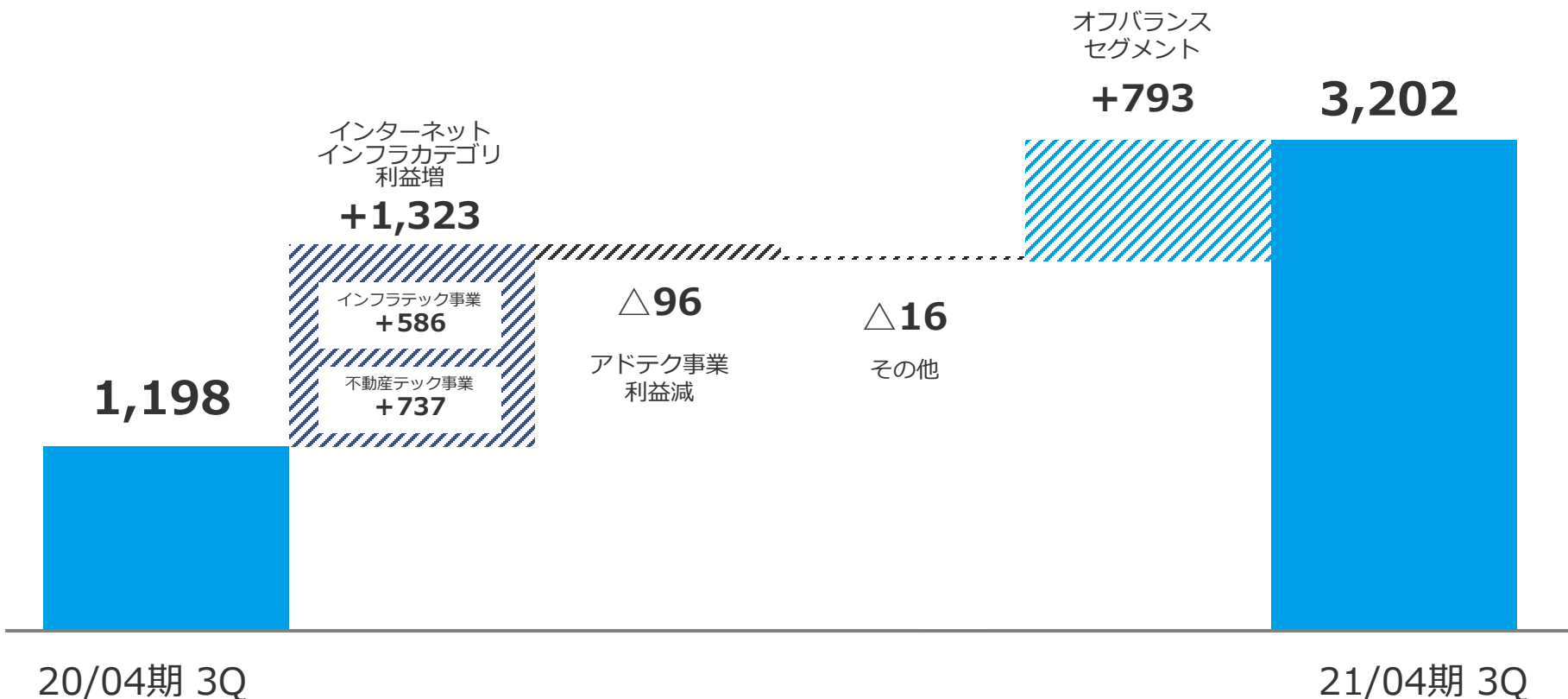
サービス需要増によりインターネットインフラカテゴリは堅調に推移も、オフバランス化によりほぼ横ばい

(単位：百万円)



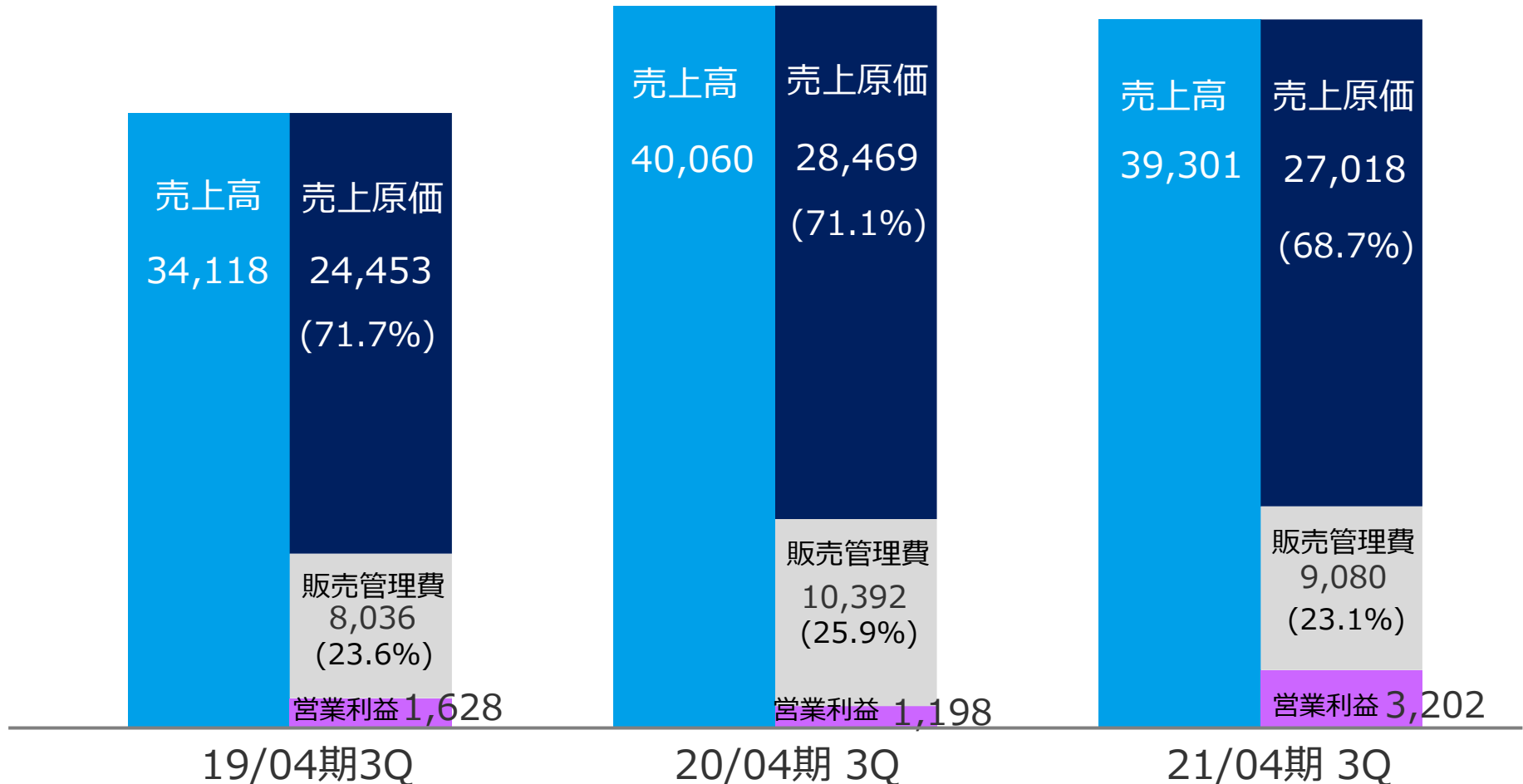
インターネットインフラカテゴリの利益増及びモバイル相互接続料の精算時期の変更(4Q⇒3Q)により前年同期比167.3%増

(単位：百万円)



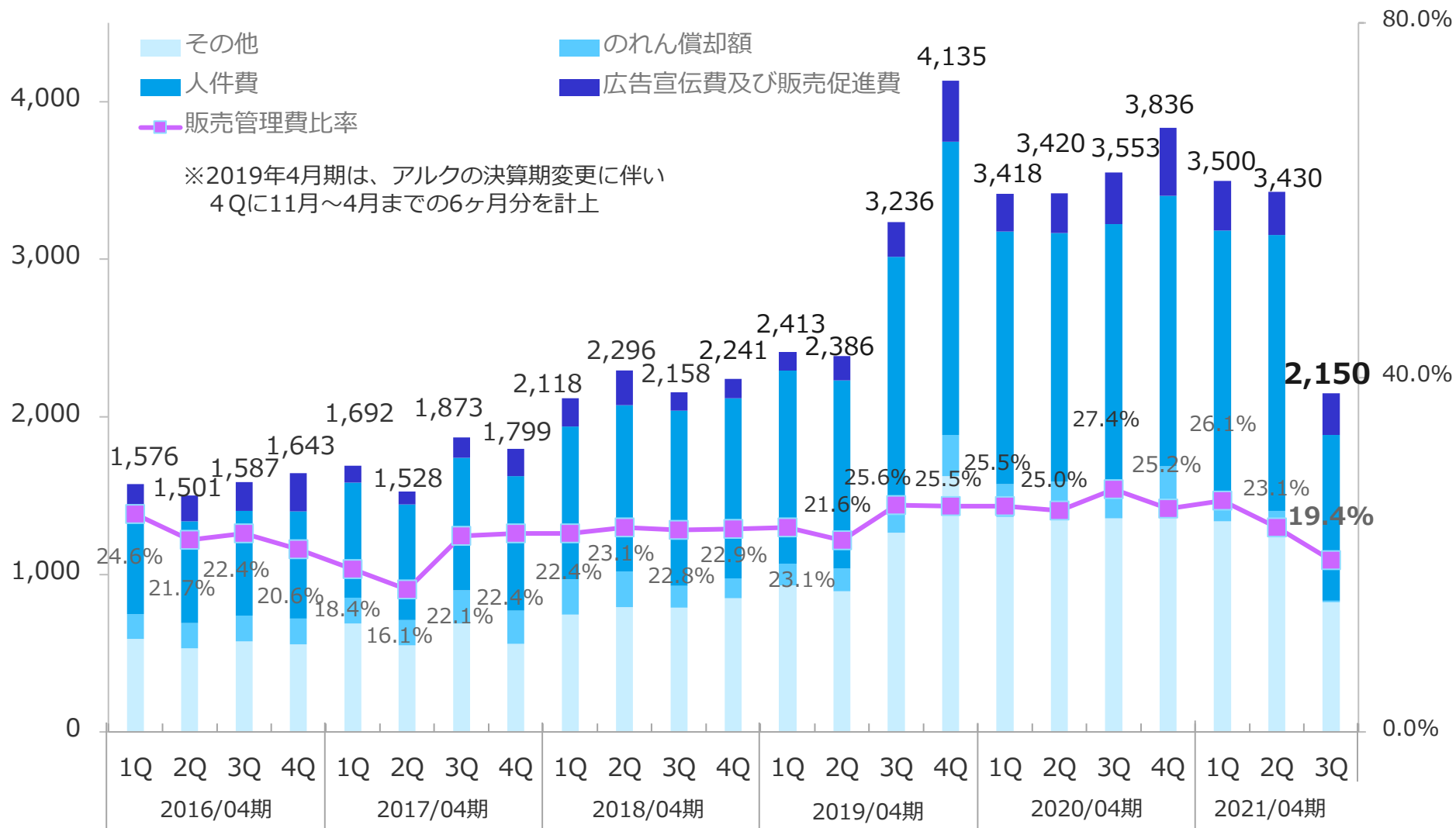
オフバランス化による売上減も、インターネットインフラカテゴリのサービス需要増により売上高はほぼ横ばいにとどまり利益は増加

(単位：百万円)



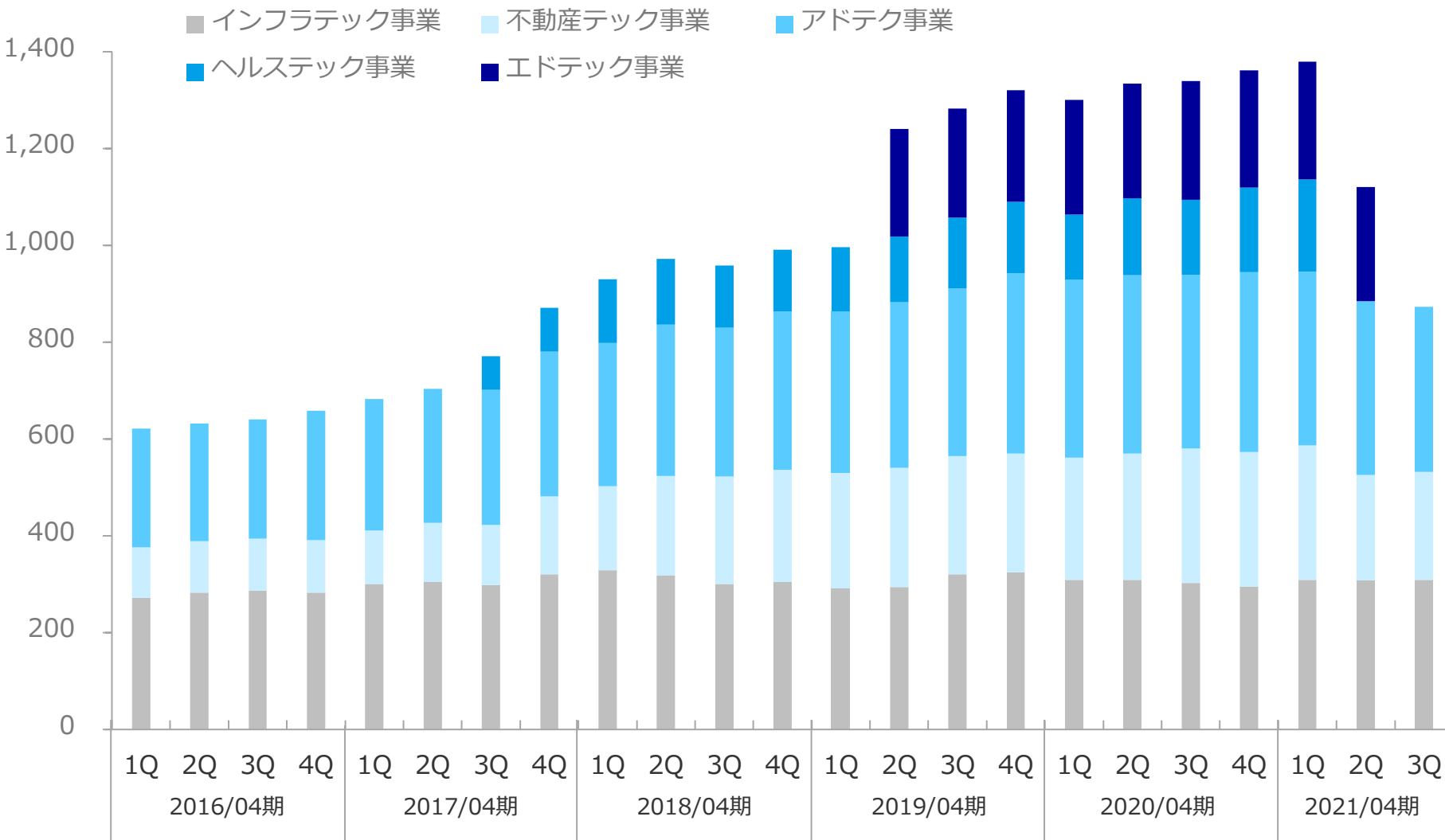
オフバランス化により販売管理費は大幅に減少

(単位：百万円)

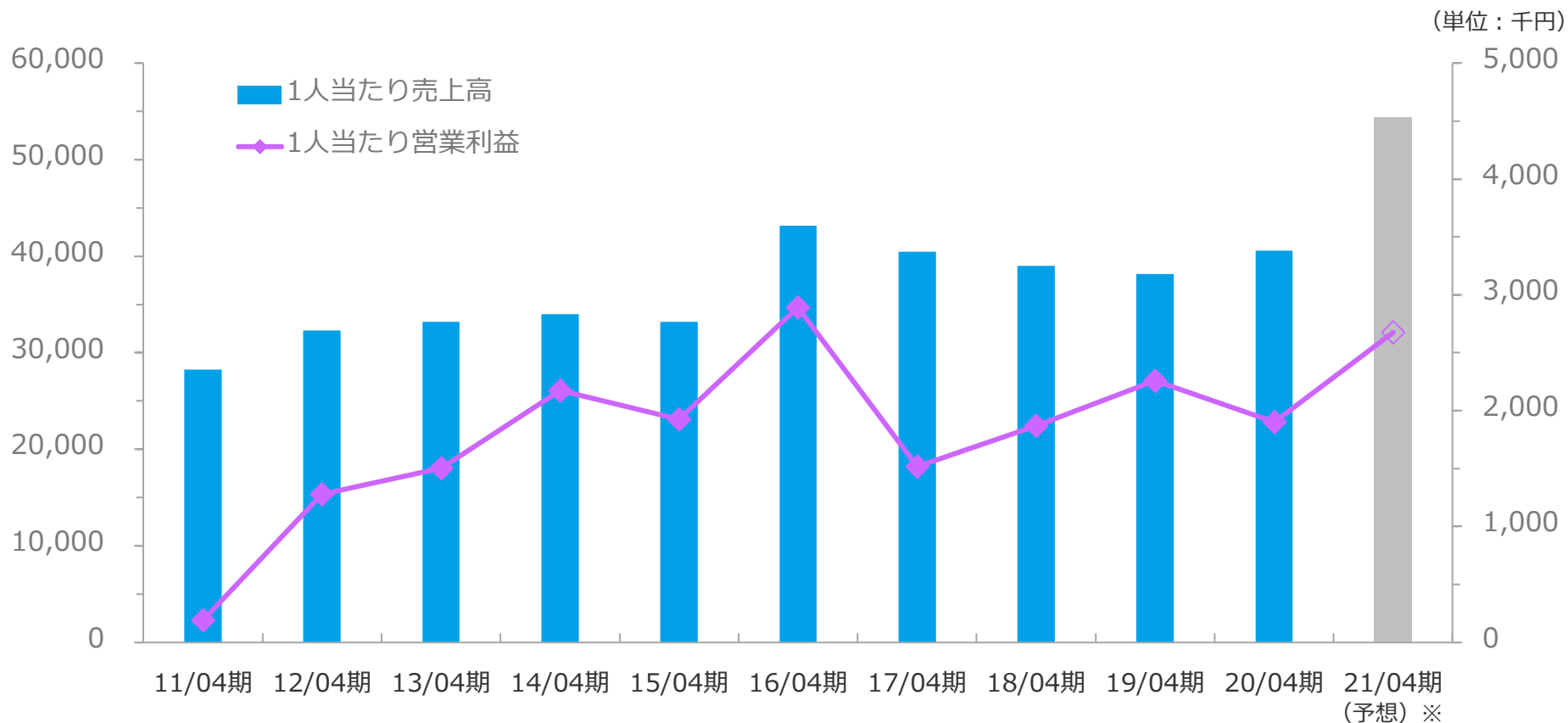


アルクの株式売却（オフバランス化）に伴い人員数大幅減

(単位：人)

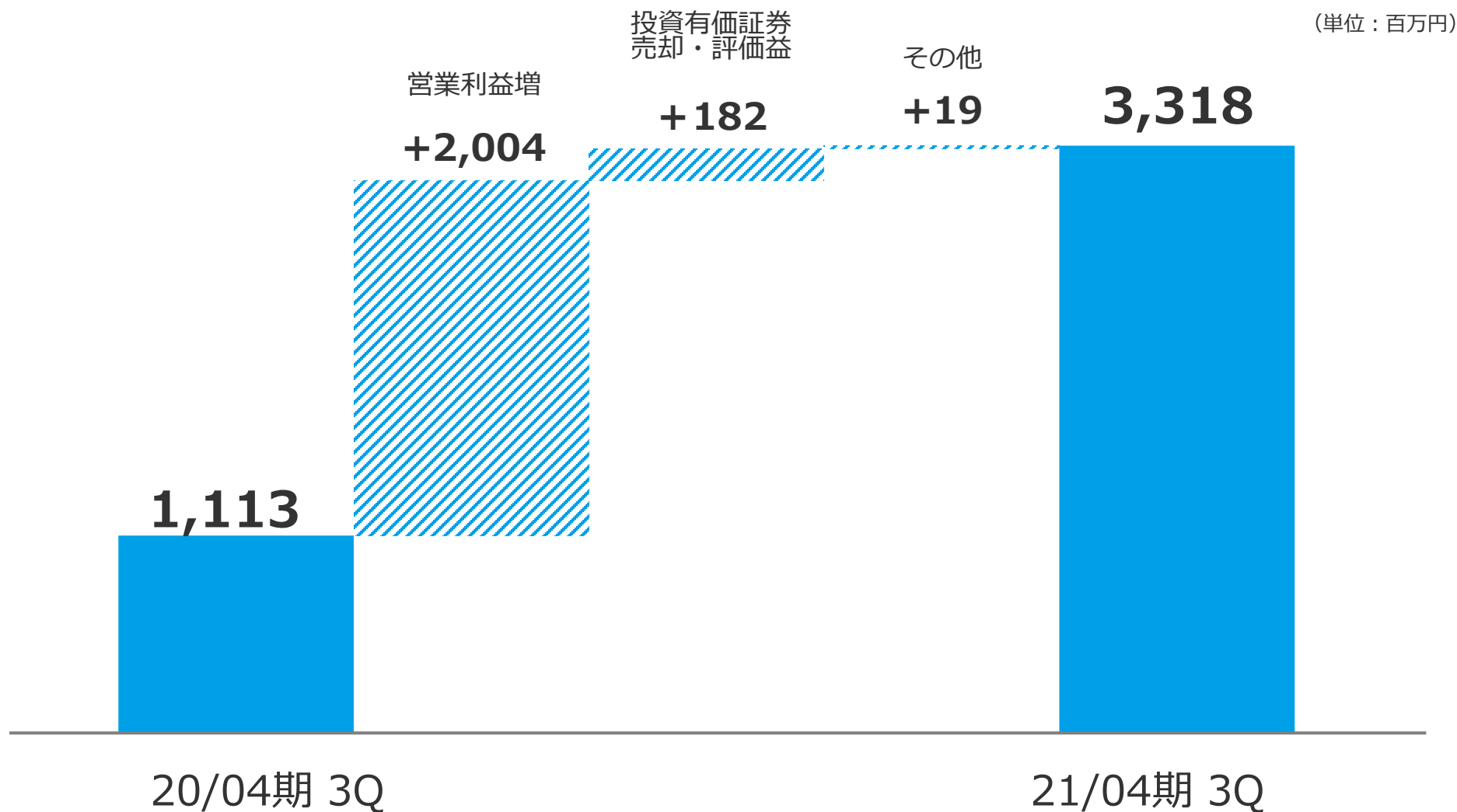


オフバランス化及び生産性の向上により、1人当たり売上高・営業利益が改善の見込み

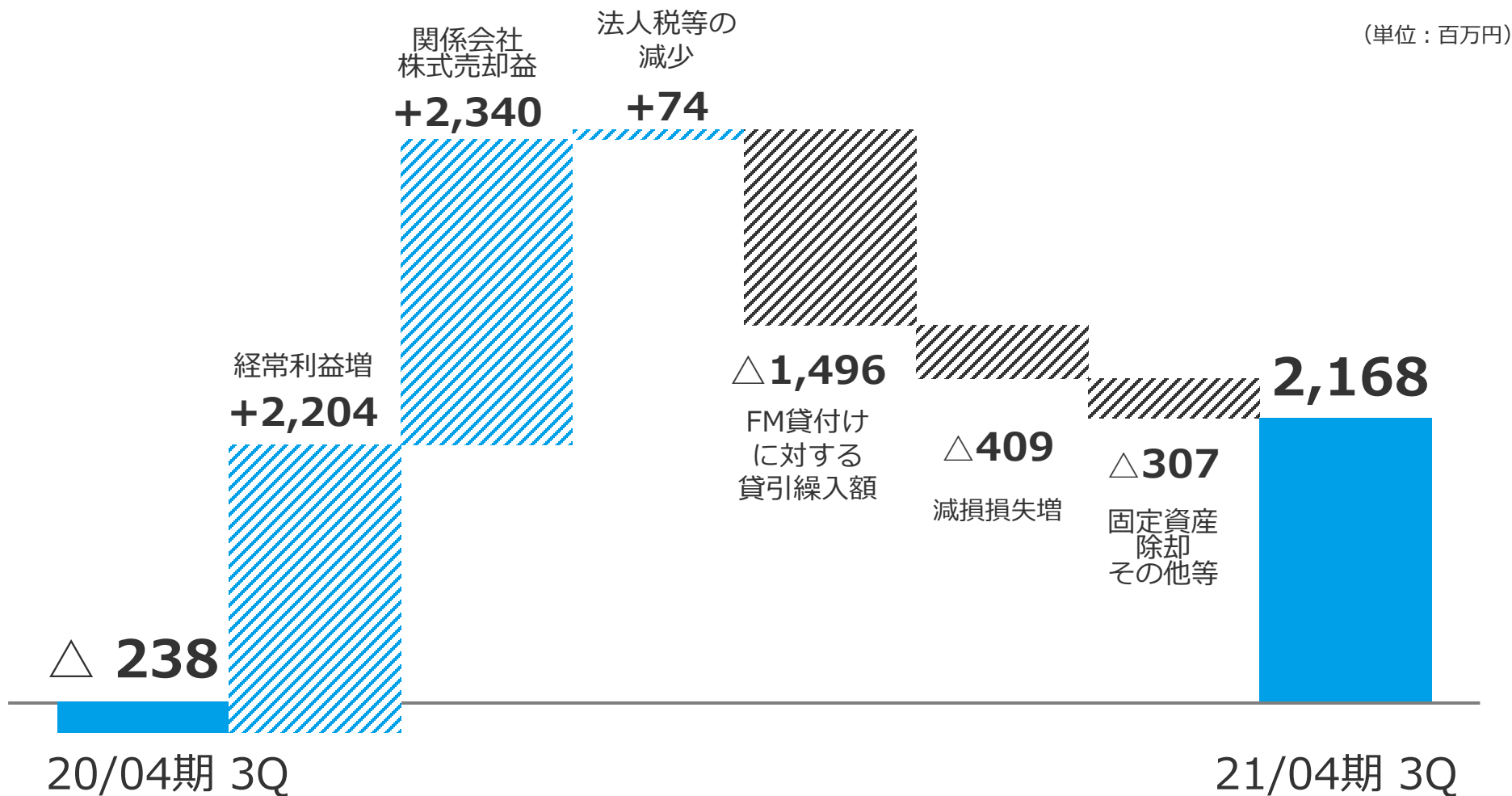


※通期予想から21/04期のオフバランスセグメントの実績を除いて試算

営業利益増により、前年同期比198.0%増

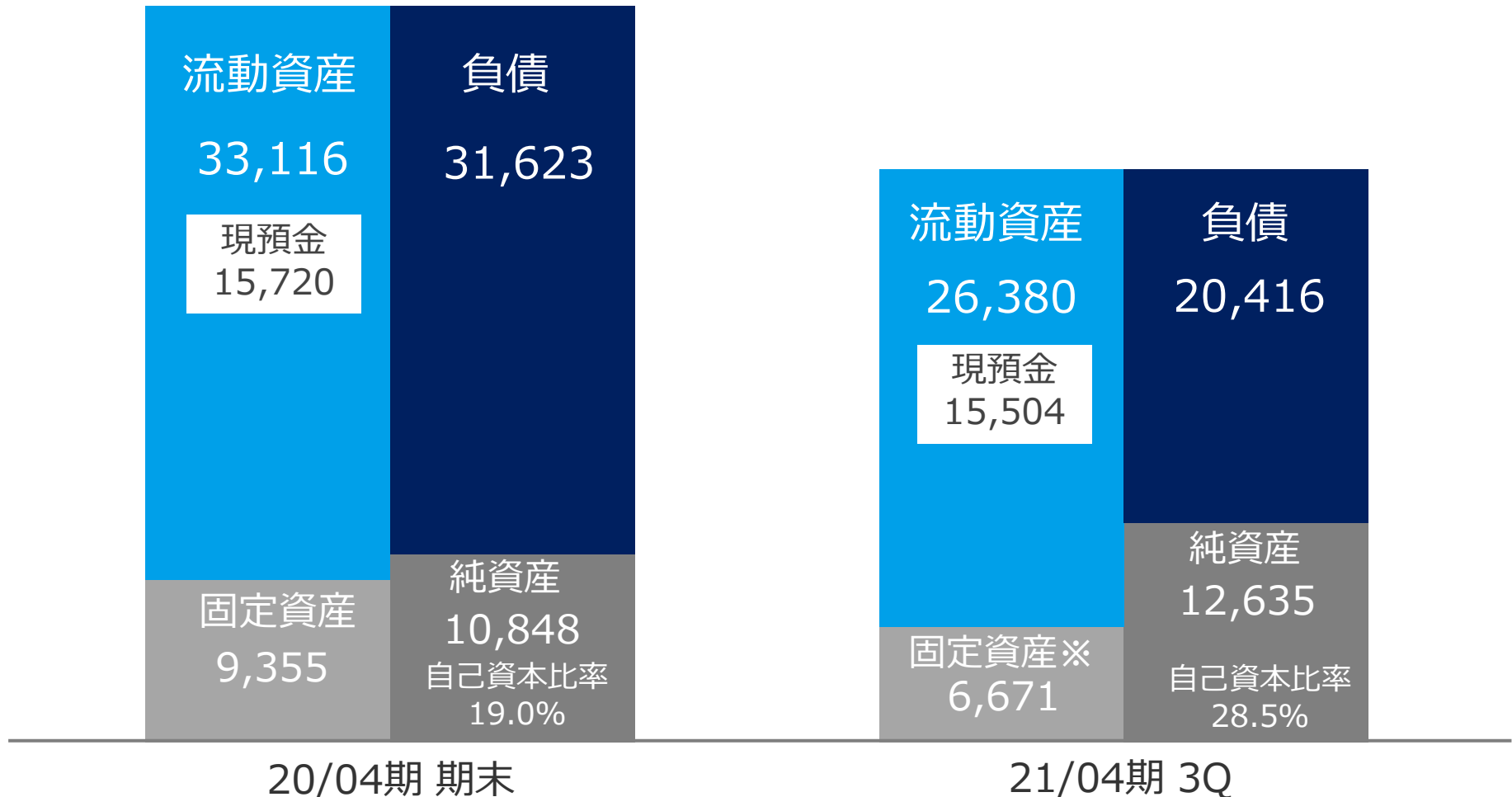


経常利益増及びオフバランス化による子会社株式売却により、前年同期比2,407百万円増



オフバランス化により自己資本比率は前期末比9.5%増の28.5%に

(単位：百万円)

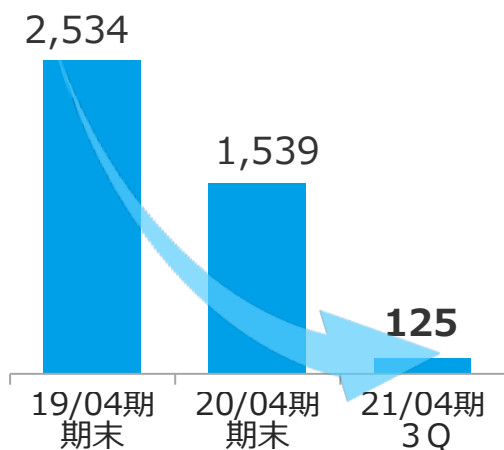


※固定資産にはのれん1.25億円含む

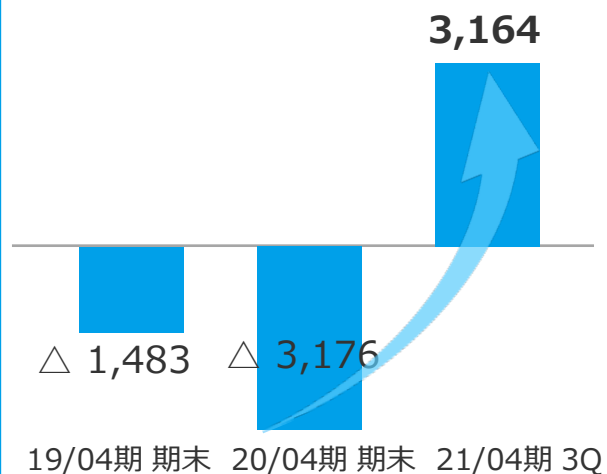
オフバランス化によりのれんは減少し、ネットキャッシュ及び自己資本比率は大幅に増加

(単位：百万円)

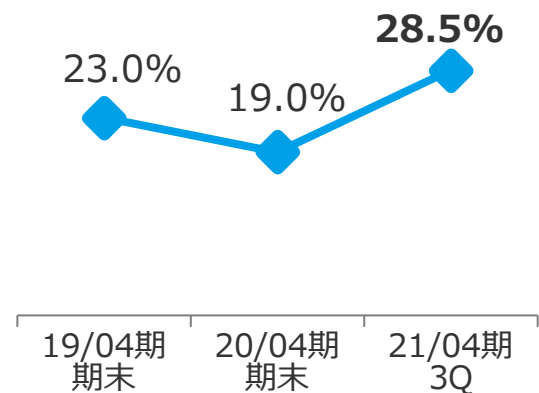
のれん



ネットキャッシュ



自己資本比率



2. 2021年4月期 第3四半期 セグメント別業績及び事業進捗

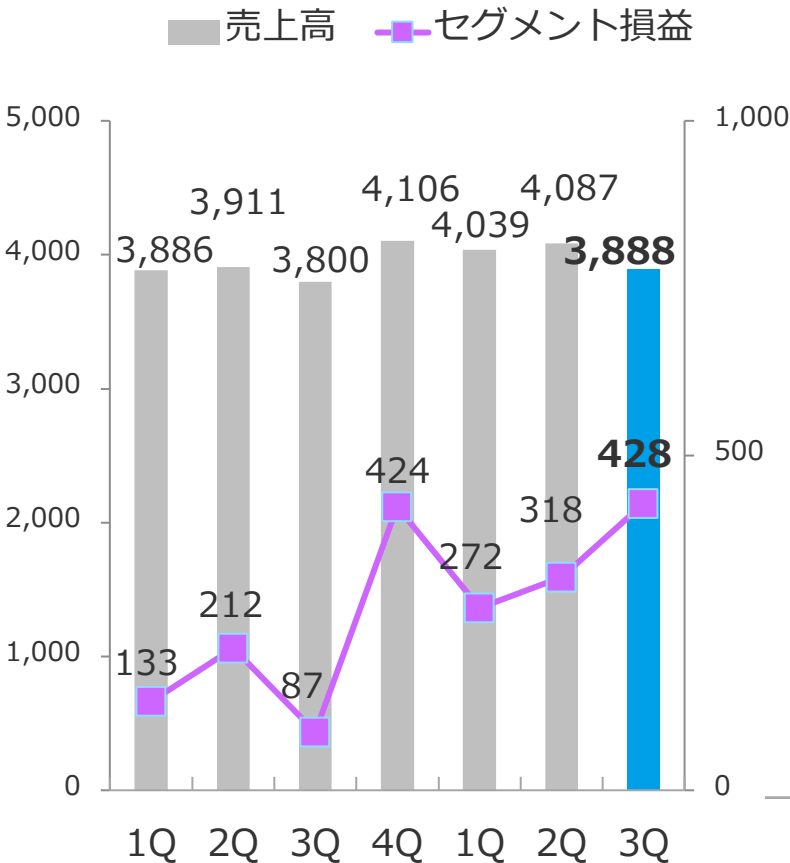
前年同期比 売上高3.6%増、セグメント損益135.7%増

例年4Qで発生してきたモバイル相互接続料の精算が今期は3Qにて発生

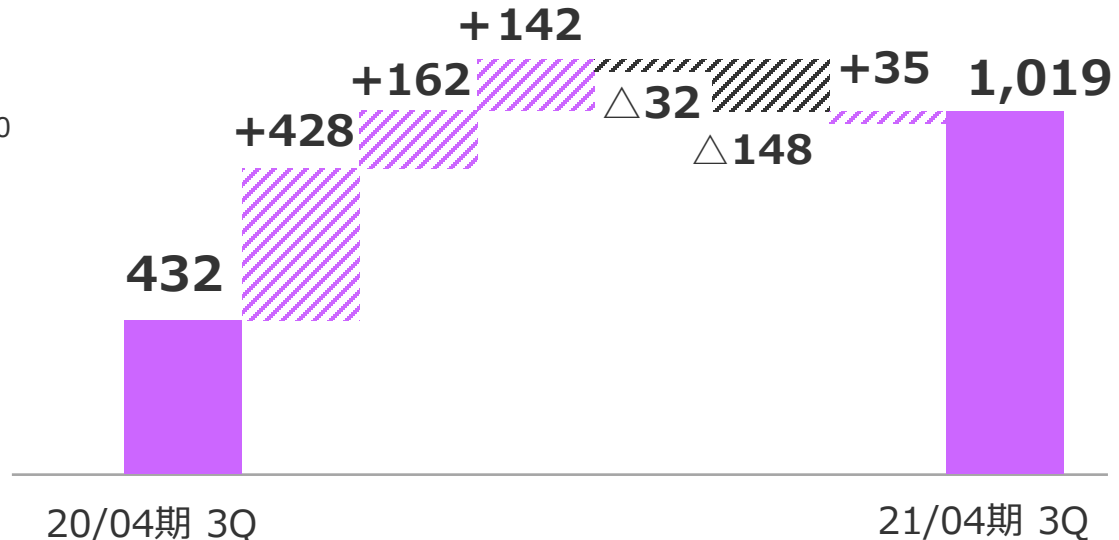
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

セグメント損益前年同期比差異分析



- +428** モバイル需要増による利益増等
(モバイル相互接続料の精算含む)
- +162** 固定費減ならびにコラボ系売上増
- +142** 投資事業分野の再編等による利益改善
- $\Delta 32$ トーンモバイル販管費増による利益減
- $\Delta 148$ 固定網利益減等
- +35** その他



pre 5G技術等の自社技術を活用したサービスを積極的に展開

AI

11月27日発表

トーンモバイル、“新常态”の問題をスマホで解決する「Go To あんしんスマホ」キャンペーン実施



MaaS

12月11日発表

FB、CaaSにおけるアルプスアルパインとのサービス連携を強化

～同社社有車管理・デジタルキーシステムが「The Key」のコアAPIを採用。またサブスクリプションベースの業界特化型ナビへのサービス連携も開始～

TONE Open化

12月11日発表

FB、データSIMを利用した050音声通話サービスの提供開始



AI

2月16日発表

トーンモバイル、お子様向け「TONE SIM (for iPhone)」を「TONE SIM4.0」へアップデート。世界初、iPhoneでAIによる自撮り被害防止を実現



通信業界
トレンド
への対応

2月25日発表

フリービット、MVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」において新音声通話サービスを発表



通信業界
トレンド
への対応

2月26日発表

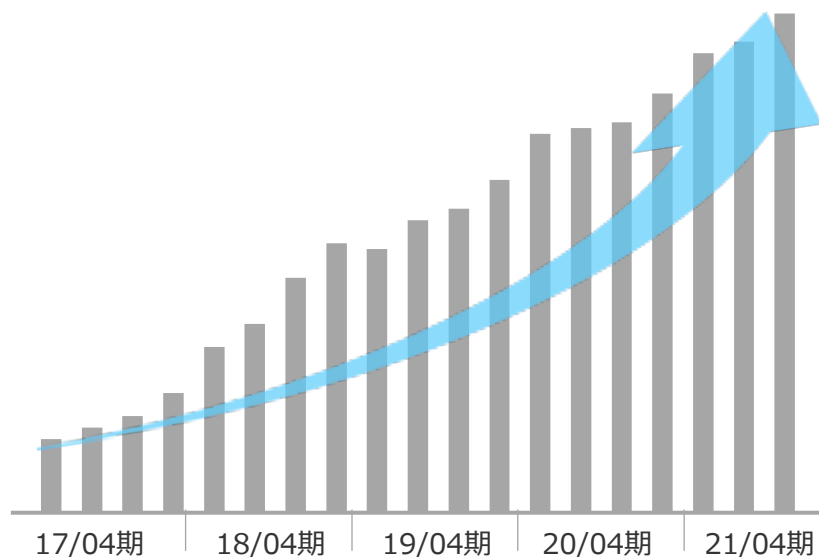
トーンモバイル、“スマホを変えるスマホ”から7年、価格を変えずに、3月1日より基本プランを初めてのバージョンアップ



サービス需要は増加傾向。市場動向を捉えたサービスを発表

市場ニーズを捉え、顧客層を堅調に拡大

freebit MVNO Pack 顧客社数の推移



大手通信キャリア3社がオンライン専用格安料金プランを発表

販売価格については一層の低下が想定されるものの、相互接続単価も大きく減少
顧客層の拡大と、原価の低減により利益の確保を図る方針

2月25日発表



格安新音声通話サービス発表

従来の音声通話サービスの基本料金を1/3以下、通話料も低価格での提供を実現する新音声サービスを発表

前年同期比 売上高20.9%増、セグメント利益88.8%増

新型コロナウイルス感染症拡大下においても感染防止に努め、堅実に工事を遂行したことにより、前年同期比増収増益で推移

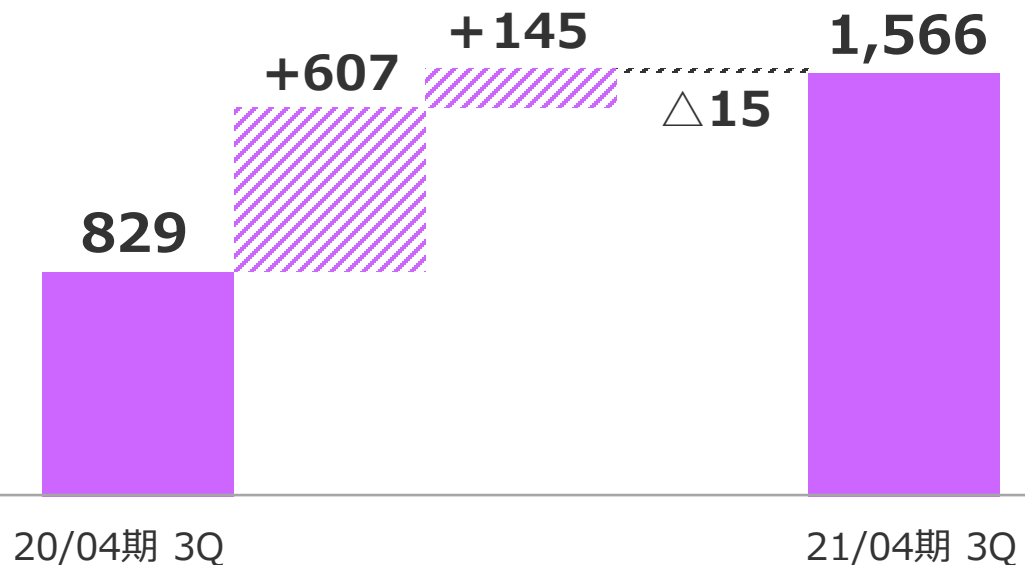
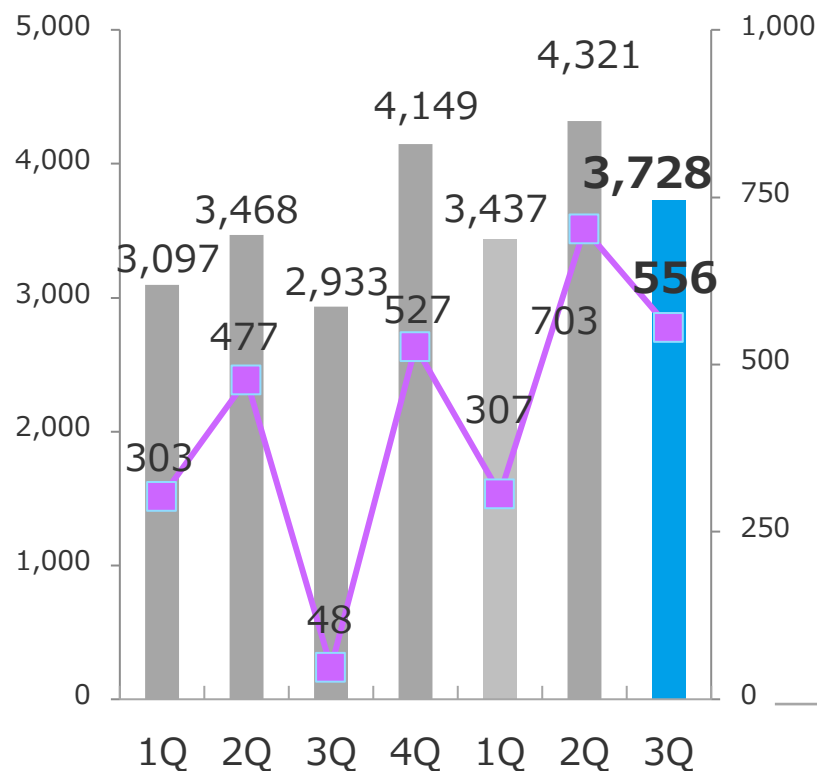
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

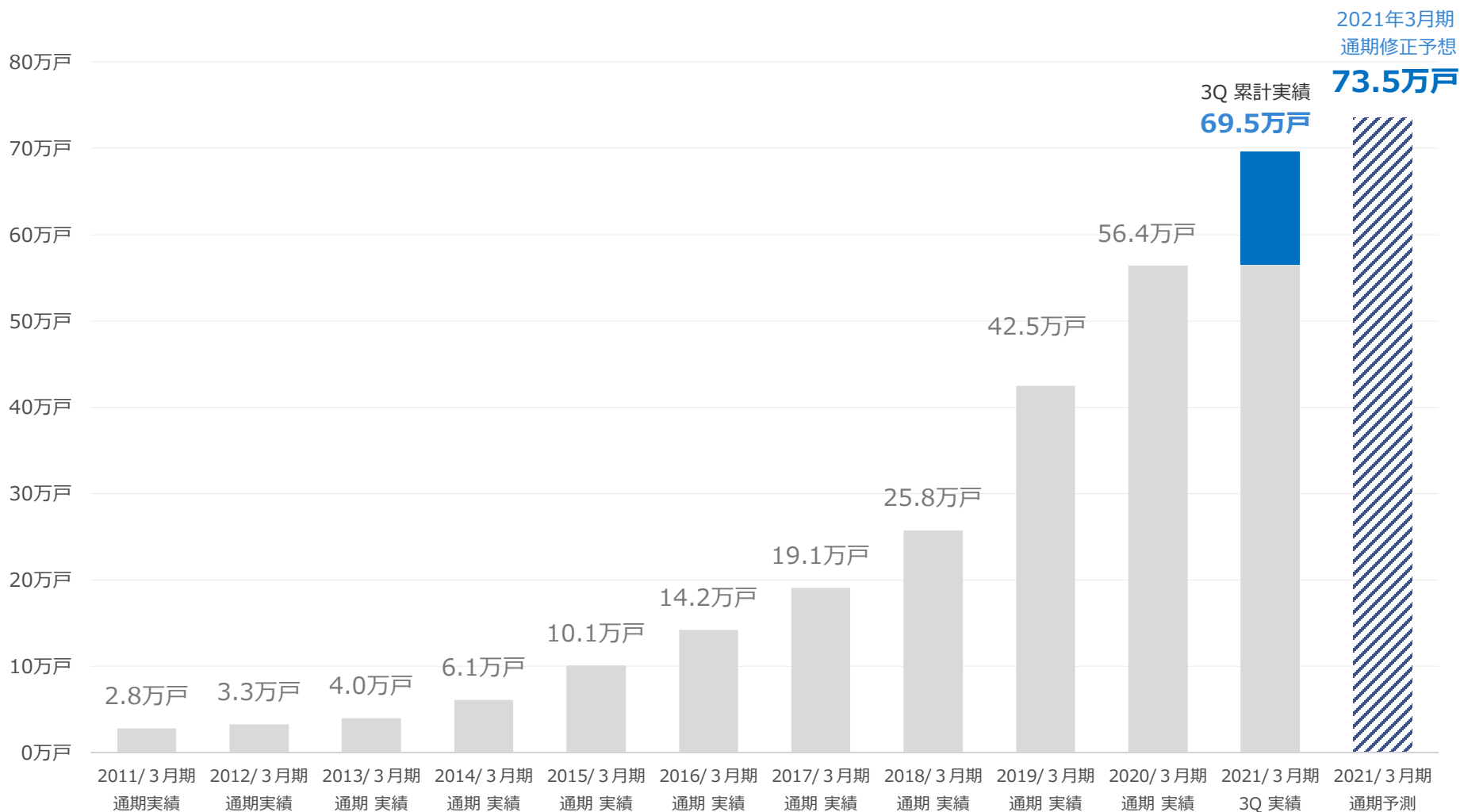
セグメント損益前年同期比差異分析

■ 売上高 ■ セグメント損益

- +607** インフラ領域売上増に伴う粗利増等
- +145** FMの連結範囲からの除外による利益改善等
- △15** 人件費増等



前期導入検討中であった案件を今期着実に受注できたことにより、提供戸数 通期予測を期初予想から 4.0万戸増の73.5万戸へ修正



多様化するニーズに応える新サービス等を提供

IoT

2020年11月9日発表

都内に集合住宅を取得、サービス検証 スペースとして運用開始

進化するテクノロジーに対応する技術を検証し、サービスの
利便性向上を図ることを目的として、都内に集合住宅を取得
し、居室の一室をサービス検証スペースとして運用開始



■ 実証中のギガプライズのサービスの一例

PWINS



SPES



GIGA PG
GIGA Priority Gate



クラウド型防犯カメラ



宅内HUB



VR

2020年12月11日発表

埼玉エリアにVR住宅展示場 4店舗を出展

埼玉エリアの4モールの「イオンハウジング VR住宅展示
場 ここから家づくり」内に、出展企業5社の最新のモデル
ハウスを12月15日に出版。12月19日より、専任コンシ
ェルジュによる有人案内サービスを開始



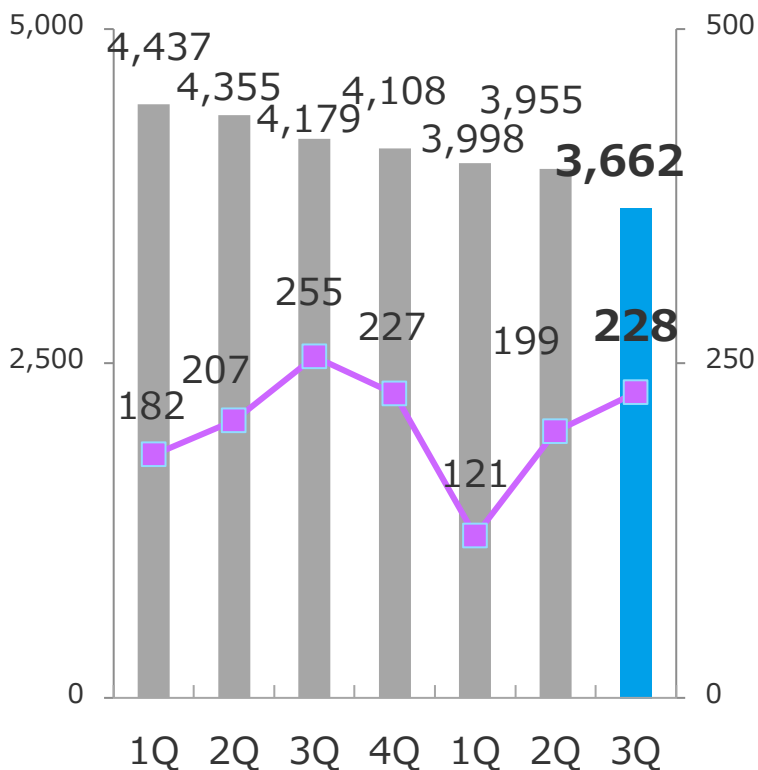
「イオンハウジング VR住宅展示場 ここから家づくり」
イメージ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年同期比減収減益も利益率の改善に尽力

(単位：百万円)

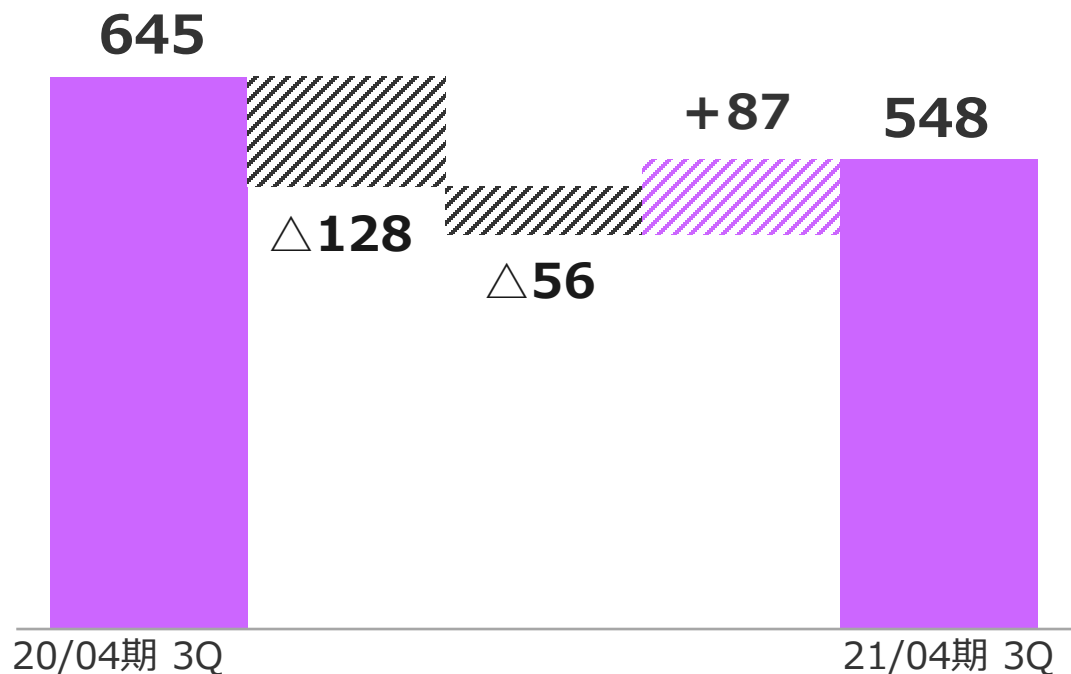
売上高・セグメント損益

■ 売上高 ■ セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- △128 FSG売上総利益の減少
- △56 FSG販管費増による利益減等
- +87 FS取得時ののれん償却終了による利益増



パフォーマンスマーケティング・プラットフォームの価値向上による事業拡大

2020.12.23 サービス開始

「インフルエンサーDX」を開始

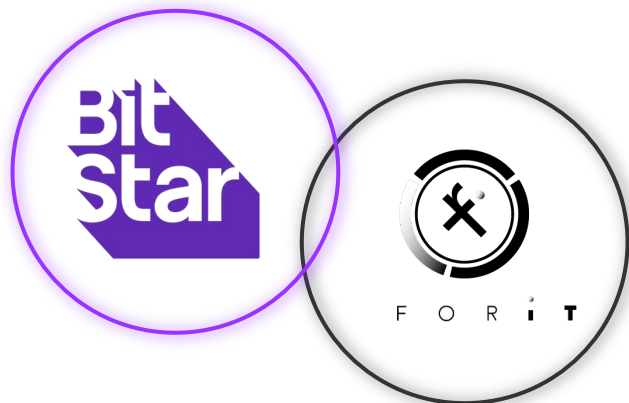
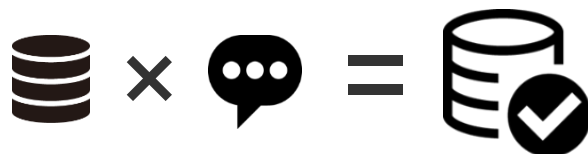
ビックデータとAIデータ分析技術を用いたインフルエンサーサービスの提供

独自マッチングシステムを共同開発

蓄積するビックデータを活用し、インフルエンサープラットフォームと掛け合わせにより独自のマッチングシステムを開発

国内最大級のインフルエンサープラットフォームとの独占提携

約4,000人を抱えるインフルエンサープラットフォームと独占連携により、独自サービス「インフルエンサー x アフィリエイト」を実現



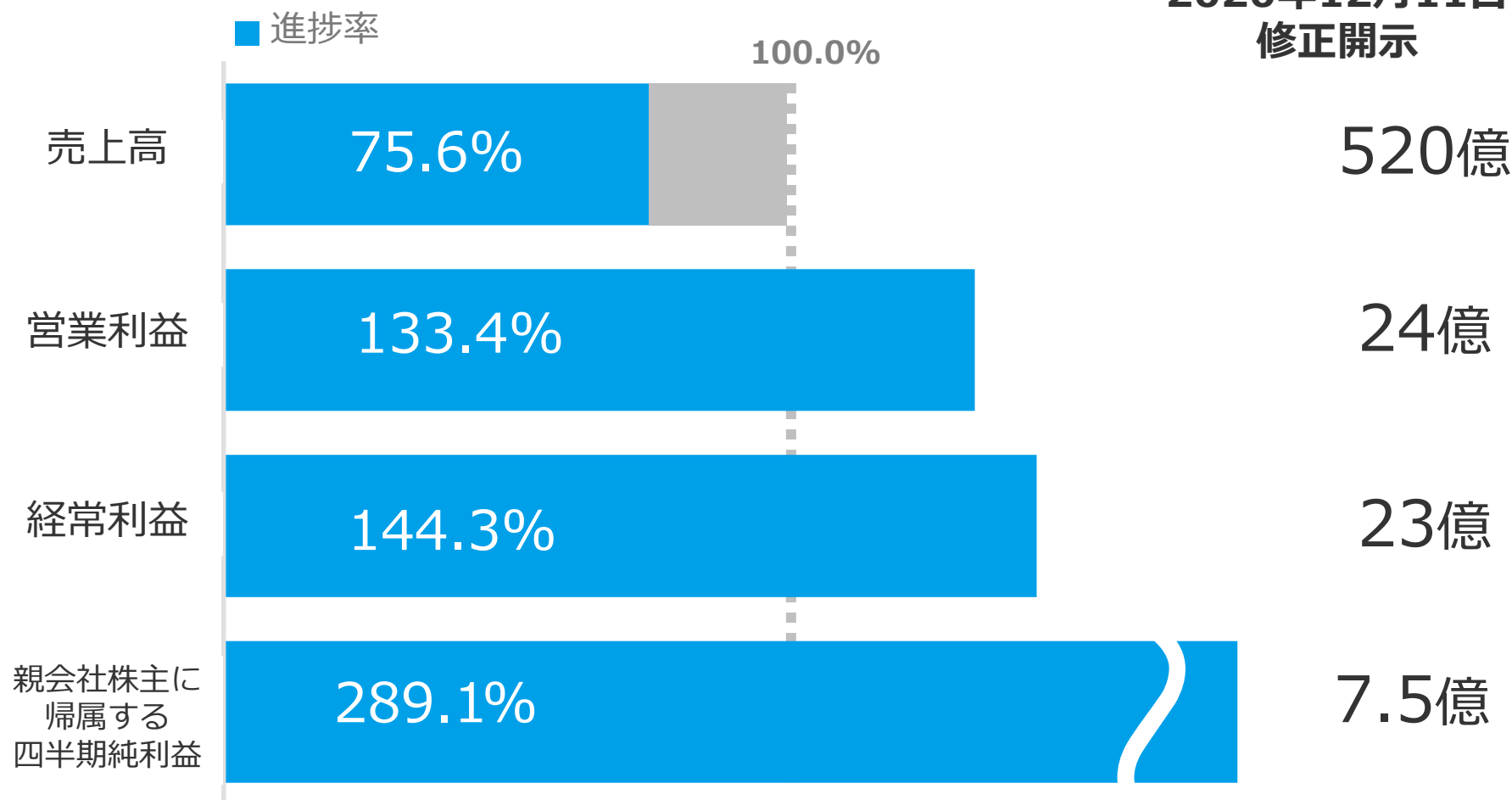
BitStar Networkに登録する約4,000人のインフルエンサーの中から最適なインフルエンサーにPR依頼ができる「成功報酬型インフルエンサーマッチングサービス」の提供

3. 2021年4月期 連結業績進捗

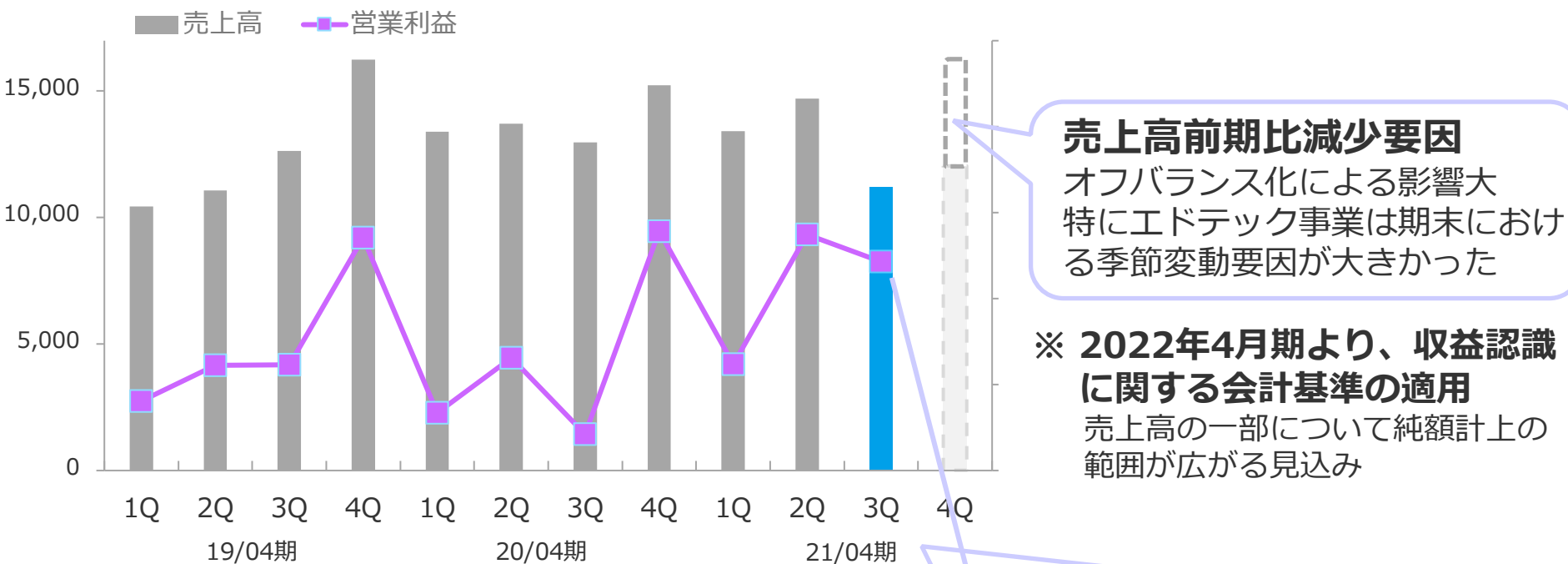
投資施策は4Q集中実施予定

※ 一部来期にまたがる案件あり

2020年12月11日
修正開示



投資施策の4Q集中実施、モバイル相互接続料の精算時期変更(4Q⇒3Q)等により、3Q比で利益減少の見込み



売上高前期比減少要因
 オフバランス化による影響大
 特にエドテック事業は期末における季節変動要因が大きかった

※ **2022年4月期より、収益認識に関する会計基準の適用**
 売上高の一部について純額計上の範囲が広がる見込み

4Qの営業利益見通し

- 例年4Qのモバイル相互接続料の精算について今期は3Qに計上
- オフバランス化により、エドテック事業の期末偏重利益減
- 投資施策については4Qに集中実施予定
 - ・ TONEモバイルの販促、キャリア対抗のMVNO対応施策の追加実施等
 - ・ 緊急事態宣言の延長を受け、一部来期にまたがる案件あり

トランスフォーメーション・ターム (2020.5-2021.4)

新常態においても持続的成長可能な企業グループとしての準備を行うために、SiLK VISION 2020 rev2をベースとした戦略移行期間を1年設定



下期より、pre 5G関連投資をはじめとする投資施策を実施

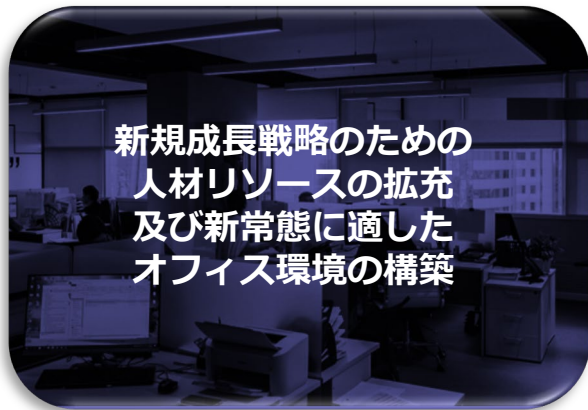
下期において、pre 5G関連投資、国際情勢を鑑みた設備・機材の見直し、新常態における安心・安全な働き方の実現及び技術リソースの拡充等に向けて投資を実施中



pre 5G
(新規事業関連)

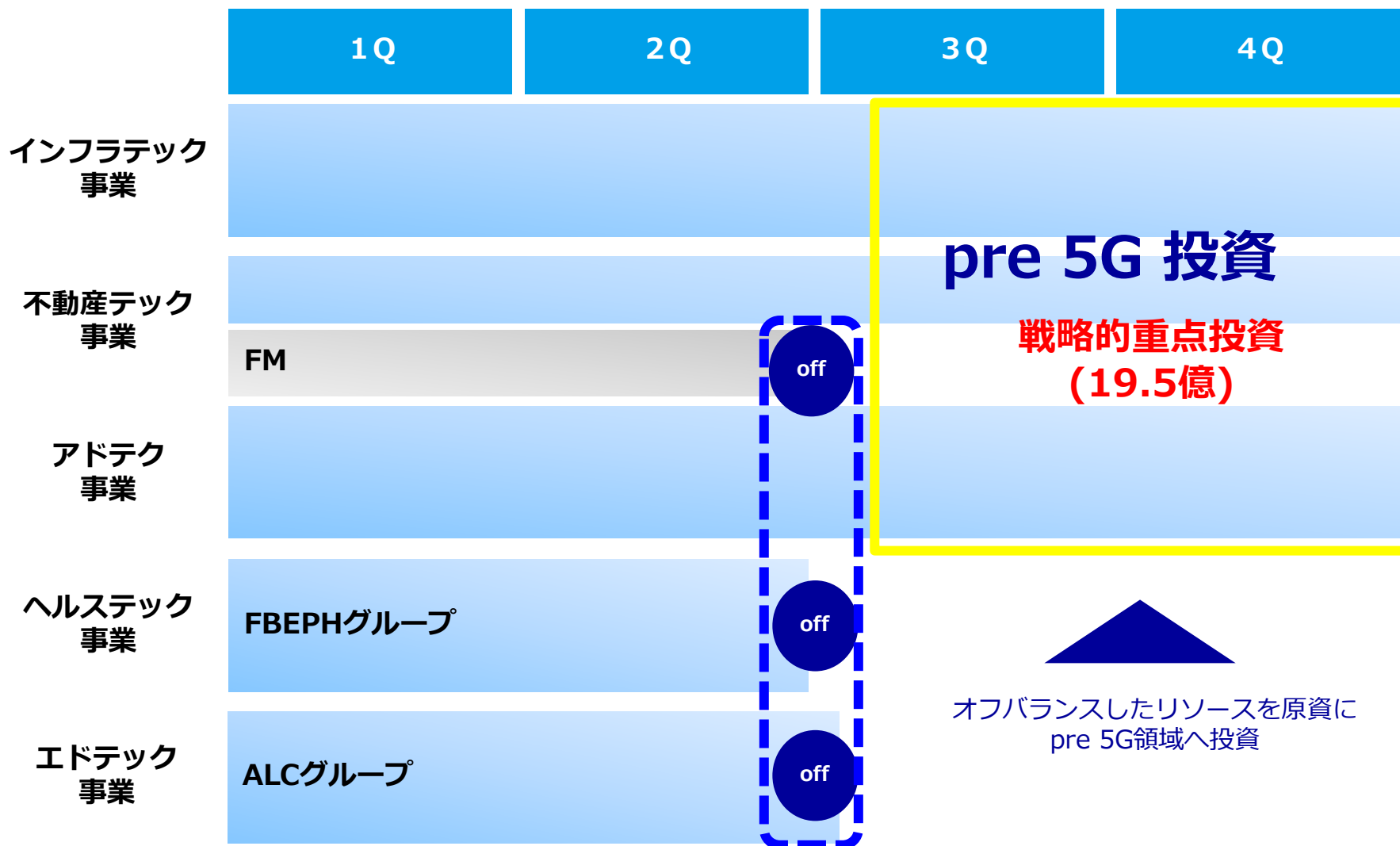


固定網・データセンター
の見直しと最適化
(Legacy3G/4Gの清算)



新規成長戦略のための
人材リソースの拡充
及び新常態に適した
オフィス環境の構築

下期戦略的重点投資19.5億円を実施中



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。